

【意見】

沼田市周辺の河岸段丘の影響で段丘崖の部分の坂道は狭くて常に渋滞や混雑を繰り返したり、列車で沼田へ行くとやはり市の中心街へ行くのは坂道を登らなくてはならないのが大変で非常に困っています。さらに、隣のみなかみ町の上越線後閑駅～上越新幹線上毛高原駅の間も大型の路線バスがユサユサ大型の車体を揺らしながら結んでいる状況で、上越線・上越新幹線双方の乗り換えをするのにも水上温泉へ行ったりするのにも路線バスの交通渋滞等の影響で時間がかかったり、朝夕には後閑駅から上毛高原駅を通らない路線バスがあったりして大変不便な状況です。そこで、この不便さを解消するために上越線後閑駅～上越新幹線上毛高原駅および上越線沼田駅～関越道沼田 I . C の区間に、最新型の短距離・山岳兼用の都市交通システム「スカイレール」(http://www.kobelco.co.jp/mach-eng/products/traffic/1179881_6250.html)を導入して坂道の不便軽減と路線バスの代替、そして速達化を図ったらどうでしょうか？。これは現在、広島県の山陽本線瀬野駅から山腹にある新興住宅街までの 1.5 Km を結ぶ「広島短距離交通スカイレールみどり坂線」として実用化されています。【「広島短距離交通スカイレールみどり坂線」関連ページ】<http://tawamu.web2.jp/shindensha5/page018.html>、<http://tawamu.web2.jp/shindensha5/page017.html>

ロープウェイと違って軌道桁にぶら下がって動くためどんなところでも線路を敷設でき、しかも勾配に大変強いという特性があります。高低差があり、路線バスの移動で不便を被っているようなところに敷設すると性能を遺憾なく発揮できると思います。「AGT（新交通システム）」の一種ですので、建設導入する場合には国(国土交通省)からインフラ整備費の約 60% の補助金が支給されます。これからの沼田地域の交通体系の改善と自動車過大利用軽減対策としても大変有益なものとなると思いますので、ぜひ導入を考えてもらえないでしょうか。

男：30代：市外在住

【回答】

新交通システムのスカイレールについては、ご意見のとおり、本市の地形を見ると有益な交通手段であり、自動車の過大利用軽減策の一助になろうかと考えられます。

しかしながら、必ずしも人口密度が高くなく、道路あたりの輸送量を増やす社会的ニーズが高いとは言えない当地域において、行政が主体となってスカイレールを始めとした AGT を導入するには、需要や利用頻度は未知数であり、また、初期投資額の規模や民間バス会社が営業展開している状況等を考慮すると、実現には相当ハードルが高いと言わざるを得ませんが、貴重なご意見でありますので、今後の参考にさせていただきたいと思えます。

担当：民生部生活課